

IB とアクティブラーニング—研究と実践— (第8回 玉川大学 国際バカロレア教育フォーラム)

日時 ; 2015 年 11 月 28 日

場所 : 玉川学園

主催 : 玉川大学

参加者 ; 教育関係者、一般

内容

玉川大学が毎年開催している国際バカロレア教育フォーラムの一環として開催された。IB 教育は、「若者が常に知的好奇心と自発性をもって、生涯学習者となるために不可欠な学びの姿勢を身につけていけるように働きかけている」ので、IB におけるアクティブラーニングを主要なテーマとしてのフォーラムであり、講演と体験型のワークショップが行われた。

講演プログラム

講演① 「日本への IB 教育の導入の現状と展望」小林克嘉 (文部科学省大臣官房国際課)

講演② 「学習のあり方を変える IB ワールドスクールへの道」星野 あゆみ (国際バカロレア機構アジア太平洋地域)

講演③ 「高大間における国際バカロレア教育の連続性」カメダ クインシー (玉川大学学術研究所)

講演④ 「日本の学校教育に活かす国際バカロレア」渋谷 真樹 (奈良教育大学)

講演⑤ 「IB 使命の実践」黒川 礼子 (広島インターナショナルスクール)

講演は、IB 教育全般とアクティブラーニングに関わる教育実践などについてであった。講演⑤は、CAS (Creativity/Action/Service : 創造性・活動・奉仕) の科目として DP の美術についての話であり興味深い講演であった。IB における美術は、作品づくりの方法などのスキルを身につけ、自分の作品を他者に伝えることにあり、生徒に合った学びを支え、育てることを心がけているとの報告があった。

体験型ワークショップ

体験型ワークショップとしては8つの分科会 (国語 (2 課題)、技術、英語、模擬国連、理科、地理、歴史) が開催された。これらのうち、岩佐大助 (玉川学園) 「人間の知覚の信頼性」に参加して、IB におけるアクティブラーニング授業を体験した。